



Nittobo

News Release

2024年3月26日

日東紡

「日東紡発祥の地」記念碑を郡山市に寄贈

本年が郡山市制施行100周年であること、そして、昨年2023年が日東紡創立100周年であることを記念して、当社は「日東紡発祥の地」記念碑（以下、記念碑）を郡山市に寄贈し、日東紡発祥の地である21世紀記念公園麓山の杜（福島県郡山市麓山1丁目）に移設する運びとなりました。安積疏水を源流とする郡山市発展の歴史を追想できるモニュメントとして親しみをお持ちいただけますと幸いです。

日東紡 発祥の地 来歴

1898年 (明治31年)	安積疏水の水流を利用した発電所を用い1万1千ボルトの高圧送電を行う電力業と、電力を活用した紡績業を兼営する郡山絹糸紡績(株)が設立された。
1905年 (明治38年)	現在の郡山市麓山に紡績工場を移転。
1915年 (大正4年)	郡山絹糸紡績(株)の紡績部門が片倉組へ譲渡され、片倉組岩代絹糸紡績所を経て、後に片倉製糸紡績(株)岩代紡績所と改組。
1923年 (大正12年)	福島紡織(株)(旧福島精練製糸(株))が片倉製糸紡績(株)岩代紡績所を買収するかたちをとり、商号を変更して日東紡績株式会社が創立され、郡山市麓山の工場は日東紡 郡山工場となった。
1957年 (昭和32年)	日東紡の最も古い工場であった麓山を『日東紡発祥之地』とする記念碑が日東紡社友会により建立された。碑表面の題字は、中興の祖である片倉三平会長(当時)が揮毫した。
1991年 (平成3年)	日東紡が郡山工場跡地を郡山市に売却。記念碑を日東紡 富久山事業センター(郡山市富久山町)に移設。
2024年 (令和6年)	前年2023年が日東紡 創立100周年、2024年が郡山市制施行100周年であることを記念し、この碑を日東紡発祥の地である現在の21世紀記念公園 麓山の杜に移設。産業史を追想するモニュメントとして郡山市に寄贈した。

以上

■ 本件に関するお問い合わせ先

日東紡 コーポレート・コミュニケーション部

03-4582-5040 ir@nittobogrp.com